

## 令和元年度 第2回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日時 令和元年11月18日(月) 13時30分～15時00分
- 場所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
- 出席者 内山委員、阿保委員、田澤委員、佐藤(陽)委員、佐藤(八)委員、小田桐委員、小館委員、藤岡委員、椛澤委員、三橋委員、太田委員、安東委員、吉田委員
- 欠席者 渡部委員  
(委員14名のうち13名出席)
- 事務局 櫻田市長、三浦市民生活部長、森岡環境課長、成田町田事業所長、福士環境課長補佐、山内主幹兼資源循環係長、藤田廃棄物政策係長、成田廃棄物政策係総括主査、石岡廃棄物政策係主事

### ○内 容

#### 1 開 会 (進行: 福士環境課長補佐)

#### 2 委嘱状交付式 (交付: 櫻田市長)

⇒市長による交付を行い、計14名が審議会の委員に任命された。

#### 3 市長挨拶

#### 4 組織会

⇒会長として内山委員が、会長職務代理者として阿保委員が決定した。

#### 5 会 議 (進行: 内山会長)

##### (1) 【案件1】弘前市のごみの現状と市の施策について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

##### 質問・意見等

・ワークショップ型勉強会は何カ所をどのくらいのスケジュールで行うのか。

→26地区ある町会連合会の地区を今年度と来年度で全て実施する予定

・協定締結団体と定期的なコミュニケーションはあるのか。

→意見交換の回数や時期に決まりは設けてなく、随時協力できる場所をお願いしている。定期的な場が必要かどうかも含めて検討していきたい。

##### (2) 【案件2】ごみ分別ガイドブックについて

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・その他の紙と雑誌・雑がみが統合されたが、禁忌品が排出されているケースもある。ガイドブックと合わせて、分別の徹底を再度呼びかけていただきたい。

(3)【案件3】弘前市ごみ出しサポート事業について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・連続して2回ごみ出しがない場合に見守りネットワークにつなぐという事だが、1回でもいいのではないか。  
→目安として2回を設定。収集では日報を付けて回り、ごみ出しがなかったという情報をその都度得るので、場合によっては、1回でも連絡するという体制も今後検討したい。
- ・最近高齢者の方の事件とかがある中、ステッカーは防犯上危険ではないか。  
→ステッカーを貼る理由としては、ステーション方式の区域の中で毎戸収集する手前、近所の方に支援制度をご理解していただく事、市の職員が収集に伺った際に、対象世帯のごみと判別できるようにする事を想定している。防犯対策も考慮し、東京都日野市で作成している例を参考に、市の職員だけが判別できるステッカーを作成したい。

(4)【案件4】災害廃棄物処理計画について

⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・仮置場の候補地は事前に見せられないのか。  
→災害の発生場所や規模によって設置する場所が変わってくるものであり、事前に複数ある候補地を公表し、認知されることによって誤解が生じ、混乱を招くおそれがあるため、災害が発生した時に速やかに公表する扱いとしたい。

(5)【案件5】その他（事業系ごみ搬入規制に係る試行状況等について）

⇒【資料5】について事務局から説明を行った。

※質問・意見等なし

6 課長挨拶

7 閉会（進行：福士環境課長補佐）

○資 料

- ・【資料1】弘前市のごみの現状と市の施策について
- ・【資料2】ごみ分別ガイドブックについて
- ・【資料3】弘前市ごみ出しサポート事業について
- ・【資料4】災害廃棄物処理計画について
- ・【資料5】その他（事業系ごみ搬入規制に係る試行状況等について）

○公開・非公開の区分 「公開」